

日本労働年鑑 第57集 1987年版
The Labour Year Book of Japan 1987

第五部 労働・社会政策

IV ILO

2 第七二回ILO総会と主要な会議

3 ILO理事会「国際労働基準にかんする作業部会」の中間報告

一九八四年の第七〇回ILO総会で、事務局長報告書の第一部「国際労働基準」をもとに、国際労働基準の今後のあり方が検討された。その成果をうけて同年十一月の第二二八回理事会で、理事会のなかに「国際労働基準にかんする作業部会」を設けることになった。

この作業部会は一九八五年二～三月の第二二九回理事会で政労使各側の理事で構成することとされ、任務はILO理事会が一九七九年におこなった既存のILO条約およびILO勧告の分類および将来新たな基準の採択が望ましい事項にかんする提案について再検討し、新たな分類および提案を示すこととされた。

作業部会は一九八五年五月に初会合を開き、以後審議を重ね、一九八六年三月の第二三二回理事会に中間報告書を提出し、承認された。本報告書は一九八七年二～三月または遅くとも同年五月の理事会に提出される予定である。

日本労働年鑑 第57集 1987年版

発行 1987年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1987年版(第57集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)